

社会福祉施設の交通労働災害防止

労働災害を防止するため、大阪労働局 安全課が作成したリーフレットです。作業の方が見える場所に掲示をお願いします。



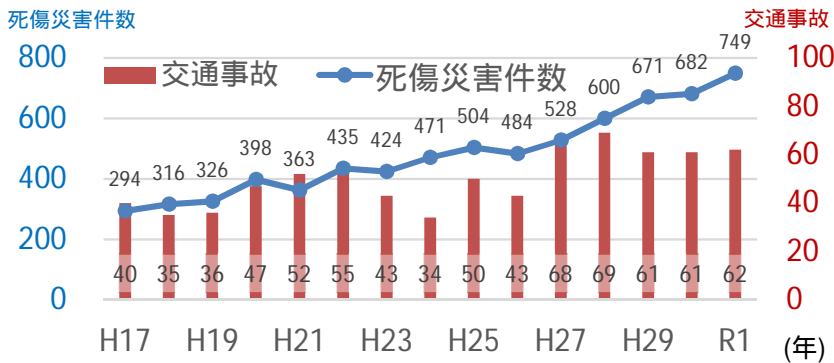
今日も一日ご安全に

令和元年（平成31年）の大阪府内の社会福祉施設の休業4日以上死傷災害は749人で前年より67人増加しています。

災害のうち、交通事故は62人で、**1件の死亡災害が発生しています。**

交通事故の死傷災害発生件数は、高止まりしています

休業4日以上死傷災害件数（労働者死傷病報告より）



死亡災害事例

（社会福祉施設の交通労働災害）

令和元年11月 女性 50歳代 経験4月

利用者宅から事務所に戻るため、原動機付自転車で走行中、道路上に駐車していたトラックを避けようと中央線側に寄ったところ、同様に当該駐車車両を避けようとした後方を走行中のダンプトラックの左後輪と接触した。



バイク・自転車運転中の災害事例

- バイク**
 - ・交差点で左折しようとした車に巻き込まれ転倒した。
 - ・上り坂を走行中、スピード不足でバランスを崩し転倒した。
 - ・右折するため、車線変更をしたとき、後ろからきた車と接触し転倒した。
 - ・雨天の中、バイクで走行中、マンホールの上でタイヤが滑りスリップして転倒した。
- 自転車**
 - ・交差点を進行中、右から直進してきたバイクと衝突した。（交差点内やT字路での災害が多発している。）
 - ・車道から歩道へ進路変更した時、車道と歩道の段差でバランスを崩し転倒した。（段差での転倒災害が多発している。）
 - ・走行中、植木で死角になった自宅から出てきた自転車と衝突して転倒した。
 - ・マンション敷地内の下り坂にて地面のタイルが雨で濡れておりスリップして転倒した。

バイク・自転車運転業務の災害防止対策のポイント

交差点での出会い頭事故は、「いつも大丈夫だから」「車が止まってくれるはずだから」の思い込みが危険です。（相手があなたに気付いていない場合があります。交差点を進行するときは相手と視線を合わせ、「アイコンタクト」をし、安全確認をして通行しましょう。）

急ハンドル、急加速、急ブレーキ、「急」のつく動作を禁止しましょう。（余裕を持って、危険予測した運転を心がけましょう。）

雨天は、路面が濡れてスリップしやすくなります。特に金属製のマンホール上は通行しないようにしましょう。自転車の運転では、段差のある車道と歩道での無理な横断をやめましょう。また、前カゴに荷物を載せすぎないようにしましょう。（運転中のバランスが悪くなるだけでなく、回避行動が取りにくくなります。）

降雪や体調の悪いときは、運転を控えましょう。

加齢により身体能力が低下します。高齢者の方は、過去の運転技術を過信せず、慎重な運転を心がけましょう。

ヒヤリ・ハット事例に基づき、**ヒヤリマップを作成**し、配布又は掲示する等により啓発を行いましょ。

